電気温水器 **ユノエース**

取扱説明書

ご愛用の皆さまへ

このたびはユノエース電気温水器をお買いあげいただきありがとうございます。
この製品の機能を十分に発揮させ、また安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり十分に理解した上で、正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。
お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

型名		型式	高所設置型
マイコン型（通電制御型）	リモコンレスタイプ	SN3-3011ML、SN4-3711ML SN5-4711ML、SN6-567ML SN4-3711MLE、SN5-4711MLE	SN3-3010MLS、SN4-3710MLS SN5-4710MLS、SN6-566MLS
マイコンレスタイプ	8時間湯沸しタイプ	SN3-307、SN4-377 SN5-478、SN6-567	SN3-306S、SN4-376S SN5-477S

マイコン型リモコンレスタイプはリモコン（別売品）を取付けることにより、時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯にてご使用できます。時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯にてご使用の場合は、リモコンを必ず取付けてください。リモコンを取付けていないと正常に沸き上げを行いません。

マイコン型電気温水器は、申請によって通電制御型として電気料金の割引が適用されます。販売店（工事店）とご相談のうえ最寄りの電力会社にご連絡ください。

四変テック株式会社

も く じ

安全上のご注意

〈安全に正しくお使いいただくために〉

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取扱いをした場合、死亡や重傷（※1）に結びつく可能性があります。
⚠ 注意	誤った取扱いをした場合、軽傷（※2）または家屋・家財などの損害に結びつきます。

※1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

○本文中で使われる図記号の意味は次のとおりです。

図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味	図記号	図記号の意味
	禁止		必ずアースを取り付ける。		やけど注意
	指示に従う		分解禁止		

据付時・移設時・修理時のご注意

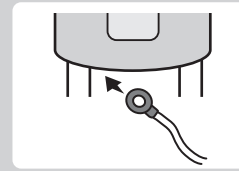
警告

●**据え付けは販売店または工事店に依頼する。**
ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。

禁止

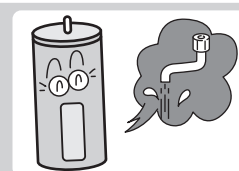
●**可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。**
発火や火災になることがあります。

アース工事

●**アース工事を確認する。**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。

禁止

●**ご自分での修理・改造や再設置は行わない。**
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

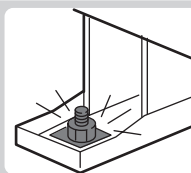
上水道

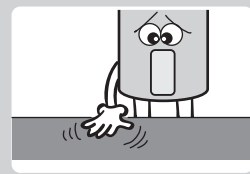
●**水道水を使用する。（温泉水・井戸水は使用不可）**
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。

安全上のご注意

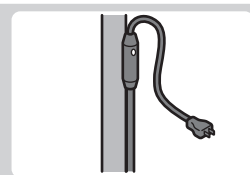
据付時・移設時・修理時のご注意

注意

確認

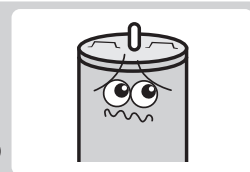
- **脚部がアンカーボルトで固定されているか確認する。**
  台風や地震のとき、製品が倒れてけがをすることがあります。
- **2階以上に据付ける場合は、上部固定金具で本体が固定されているか確認する。**

確認

- **床面が防水・排水処理をしていない床面に設置しない。**
  水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。

確認

- **配管の凍結防止対策を確認する。**
  凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

禁止

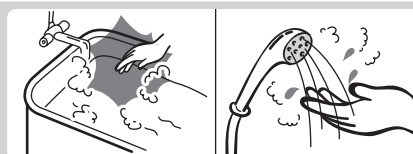
- **冠水するところには設置しない。**
  冠水すると漏電や感電することがあります。

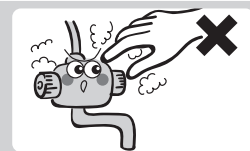
確認

- **取手は初期の据付までの運搬用です。**
  その後の使用では劣化により破損し、けがをするおそれがあります。
  また、取手は運搬用以外には使用しないでください。(強い衝撃や無理な力を与えると取手が破損し､けがをするおそれがあります。)

使用時のご注意

警告

確認

- **入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確かめる。**
- **お湯を使う前には、湯温を確認する。**
  やけどをすることがあります。

やけど注意

- **給湯時は湯水混合栓本体に手を触れない。**
  やけどをすることがあります。

やけど注意

- **排水時にはお湯や排水配管に手を触れない。**
  やけどをすることがあります。

やけど注意

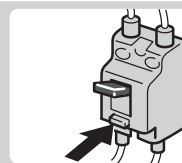
- **逃し弁点検時は配管に手を触れない。**
  やけどをすることがあります。

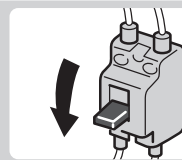
安全上のご注意

使用時のご注意

警告

動作確認

● 漏電遮断器の動作を確認する。
故障のまま使用すると、感電することがあります。

確認

● 異常時は漏電遮断器の電源スイッチを下げて電源を切る。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

禁止

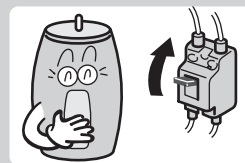
● 取りはずす指定のないカバーは取りはずさない。
高温部によるやけどや感電することがあります。

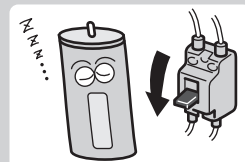
禁止

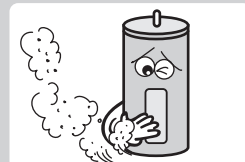
● 製品の上に乗ったり、配管に力を加えない。
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に幼児に注意してください。

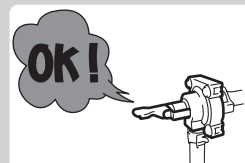
注意

満水確認

● タンクを満水にしてから電源を入れる。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

電源確認

● 1ヵ月以上使用しないときは、電源を「OFF」にしてタンク内の水を排水をする。
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

カバーは閉

● 点検窓は閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

点検

● 逃し弁の点検をする。
点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

安全上のご注意

使用時のご注意

注意

● **そのまま飲用しない。**
長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。飲用される場合は次の点に注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてからにしてください。

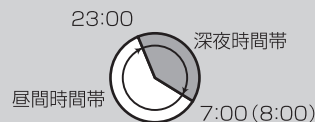
・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使ください。
・固形物や変色・にごり・異臭などがあった場合は、飲用には使用せずに、直ちにに点検の依頼を行ってください。

ご使用上の注意

●契約している電力制度を確認する

契約している電力制度によってご利用いただけない機能があります。

●深夜時間帯のご使用について

温水器は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。この時間帯にお湯を使うと、昼間に沸き増しを行い電気代が高くなる場合があります。
深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。

●お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
お湯の使いすぎに注意してください。
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
・シャワーは止めながら
（髪を洗っているときは止めましょう）
・洗いものをするときも止めながら

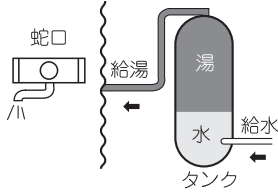
●リモコンの時刻を確認する（時間帯別電灯契約時）

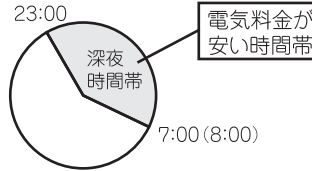
月に1度はリモコンの時刻を確認、修正してください。
時刻がずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

各部のなまえとはたらき

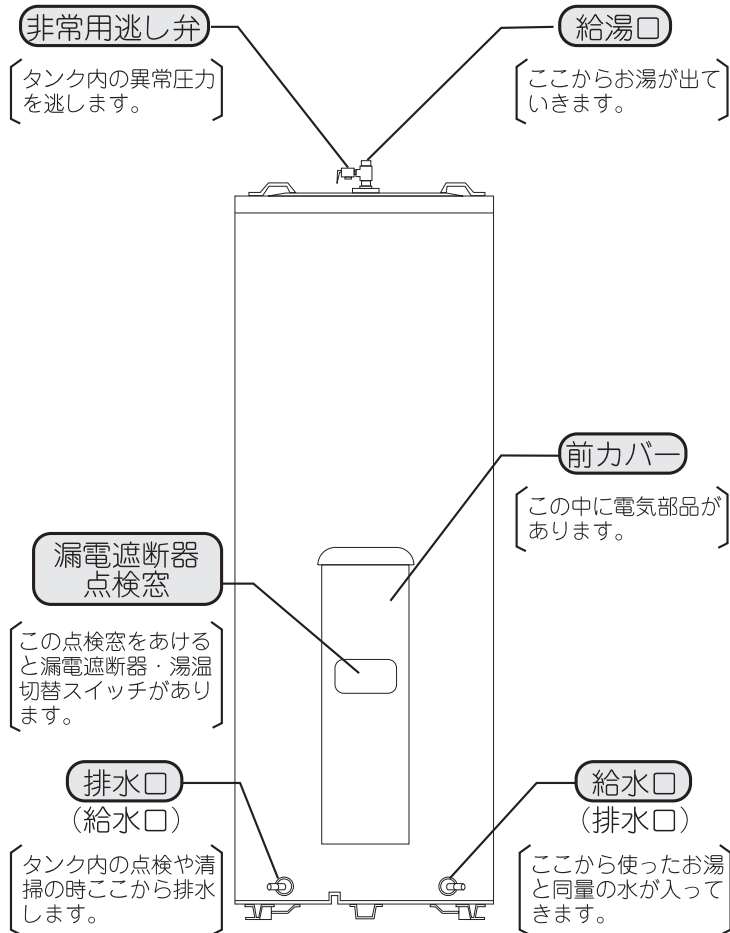
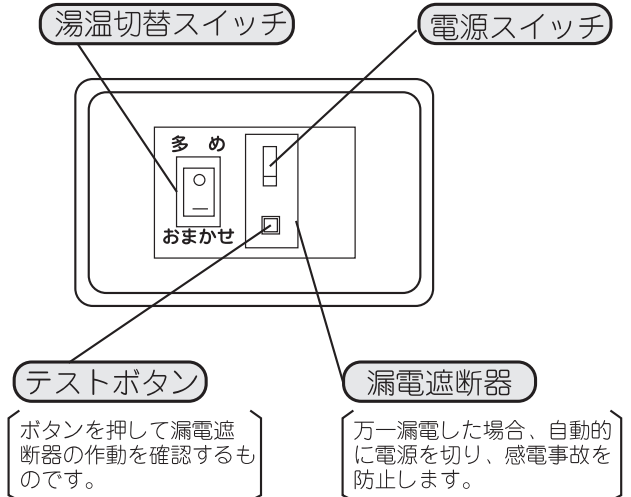
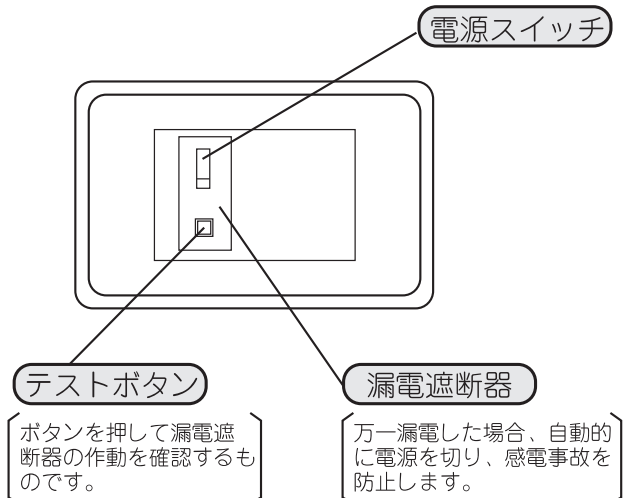
温水器の仕組み

1.自動給水･押上げ方式です。

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

2.主に､夜間に沸き上げを行います

割安な深夜電力を利用して、タンク内のお湯を沸き上げます。
深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。

3.タンク貯湯式です

沸き上げたお湯をタンクに貯湯し、蛇口にて水と混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

本体外観図

型式の末尾に「E」が付いている機種は非常用逃し弁が取り付けられておりません。

各部のなまえとはたらき

■標準配管例

各部のなまえとはたらき

リモコンの操作部

ご注意

※深夜電力でお使いのときは時刻設定、沸増1日の設定ボタンは操作できません。

リモコンの表示部

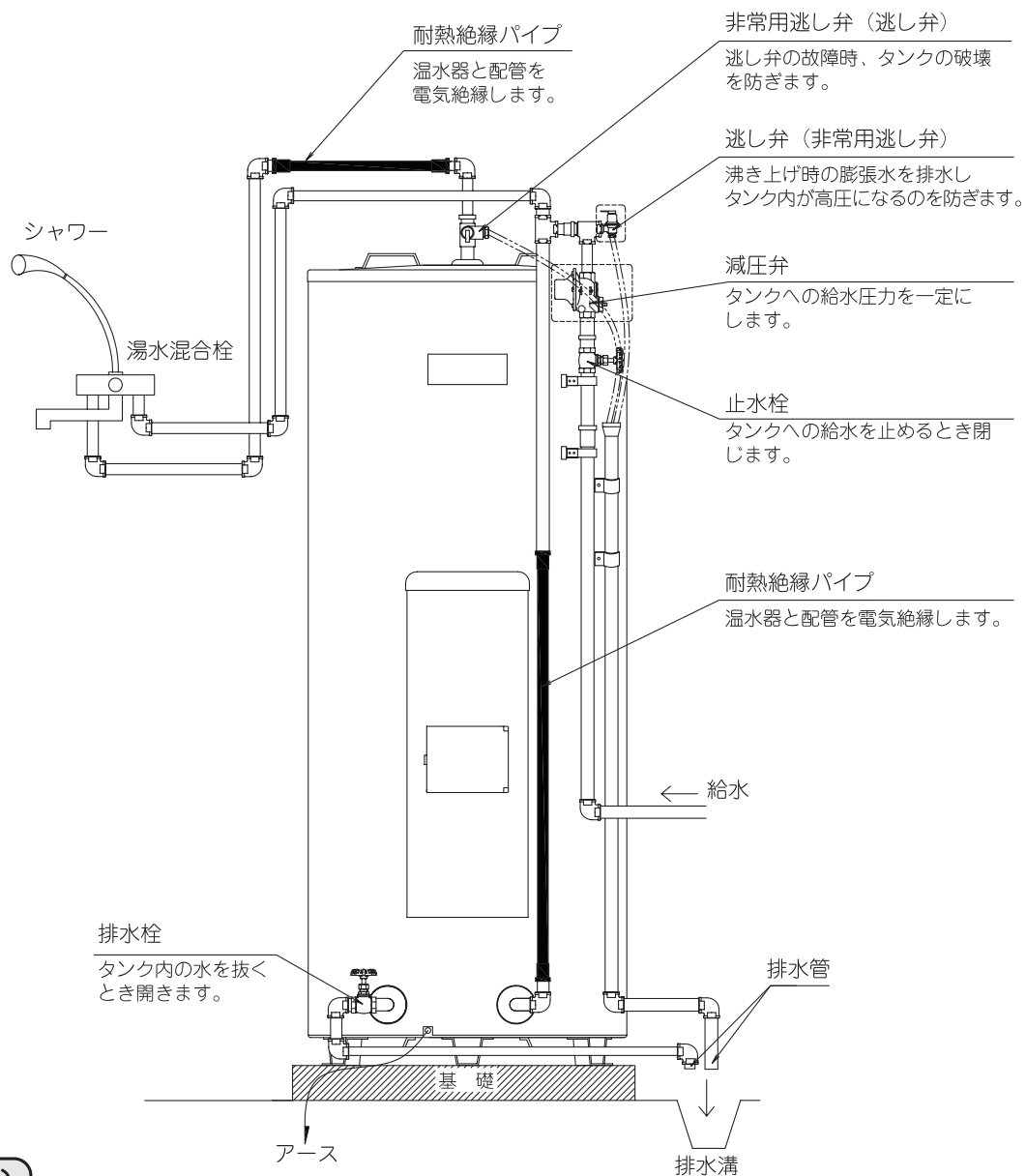
表示	説明
多め おまかせ 少なめ	『沸き上げ表示』 多め、おまかせ、少なめの3種類から選択でき、設定されているいずれか1つの表示が点灯します。
残湯	『残湯表示』 タンク内に残っているお湯の量を表示します。
運転休止 14日	『運転休止表示』 お湯を沸かさない日数(運転休止日数)を表示します。
200V	『200V電源表示』 200V電源供給中に表示します。
沸き増し1日	『沸き増し表示』 沸き増し設定をしたときに表示します。
23:00	『時計表示』 現在時刻を表示します。
沸上げ中	『沸き上げ中表示』 ヒーターに通電を行い、沸き上げをしているときに表示します。

ご注意

※深夜電力でお使いのときは時計表示、沸き増し1日は表示されません。
※「多め」「おまかせ」「少なめ」表示は設定されているいずれか1つが表示されます。

使用前の準備

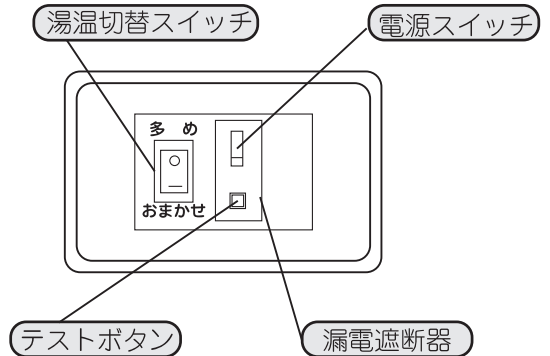
温水器への給水

1. 排水栓が閉まっていることを確認します。
2. 止水栓、湯水混合栓のお湯側を開けます。
　（満水まで約20～30分かかります。）
3. 給湯栓から水が出てくれば満水です。
4. 給湯栓を閉じます。

お願い

・温水器の止水栓を開いてすぐに水が出てきても、配管内の残水が出てきた可能性があります
ので
しばらく給水してください。
・最初はタンクや配管内のゴミ・油などを洗い流すため、満水になってもしばらく給水してください。

ご使用のしかた

温水器への通電

1. 温水器への給水が完了したことを確認した後、漏電遮断器点検窓のネジをゆるめ点検窓を開けます。
2. 漏電遮断器の電源スイッチを「ON」にします。
3. 沸き上げ温度を設定する。
   リモコンをご使用のお客様はリモコンで設定を行ってください。（P12）
   リモコンをご使用でないお客様は本体操作部で行ってください。（P18）
   マイコンレスタイプをご使用のお客様は沸き上げ温度の設定はできません。
4. 夜間の通電時間になると自動的に通電され翌朝にはお湯が沸いています。

⚠注意	❗ 点検窓は操作完了後、確実に閉じておいてください。
	閉じ方が不完全な場合雨水が侵入して感電や機器が故障する恐れがあります。

ご注意

23:00以降にお湯を使うと設定温度まで沸き上がらない場合があります。また、厳冬期や残湯量が少なく水温が低い（約10℃以下）ときも設定温度まで沸き上がらない場合があります。

お湯のご使用

●やけど防止のため、湯水混合栓の温度調整つまみを「水」側にしてから給湯つまみを開き適温に調節してからお使いください。（2ハンドル混合栓の場合､まず水側を開けた後に､湯側を開けて温度を調節してください。）

⚠警告	お湯だけで使用しますと、やけどをしたり、流し台をいためる場合があります。

⚠注意	❗ 中高層集合住宅の高架水槽の清掃などで、断水の連絡があったときは止水栓を閉めてください。
	お湯が給水側に逆流したり負圧によりタンクが破裂する恐れがあります。

お湯の上手な使い方

●一日に使用できる湯量は限りがあります。特に冬期は水温も低くムダな使い方をしますと、湯量不足になるので上手に使ってください。

●ムダなお湯を沸かさないようにすると経済的です。お湯の使用量に見合った沸き上げ湯温の設定をしてください。

●湯温設定は､翌日のお湯の使用量を考えて設定してください。湯温の設定方法は「操作部の使い方」を参照ください。

●通電時間中に大量のお湯を使用しないでください。翌日の湯温が低くなる恐れがあります。

●入浴は家族が連続して入るようにしましょう。

●炊事での流し洗いは避け、容器に受けて使いましょう。

●お風呂のたし湯は浴槽内の湯を減らしてから行ってください。

リモコンの使い方（リモコンを取り付けた場合）

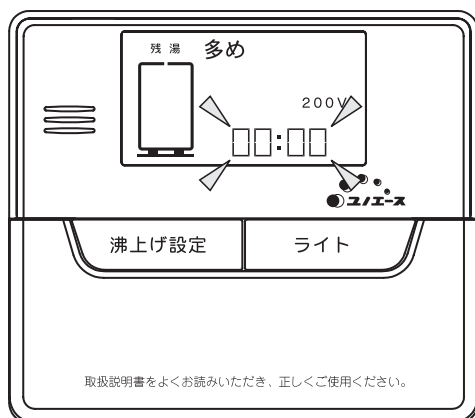
〈時計を合わせる〉

●時間帯別電灯、季節別時間帯別電灯契約でご使用の場合は、必ず時計の時刻を合わせてください。

●時刻を設定しないと沸き上げをおこないません。

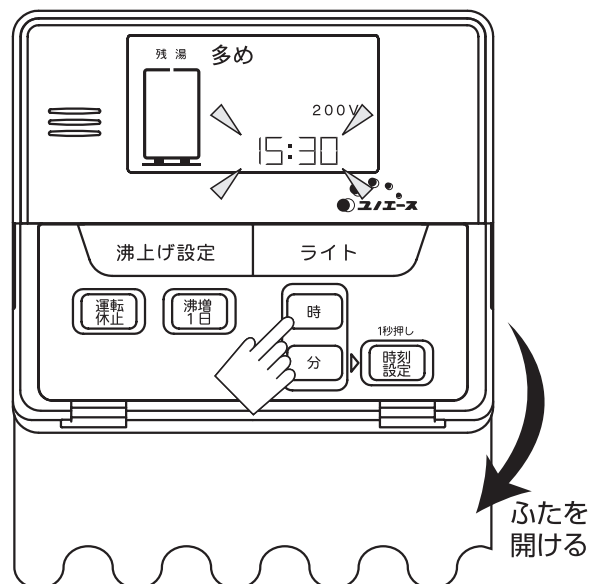
ご注意 ※深夜電力でお使いの場合は、時計表示および時刻設定はありません。

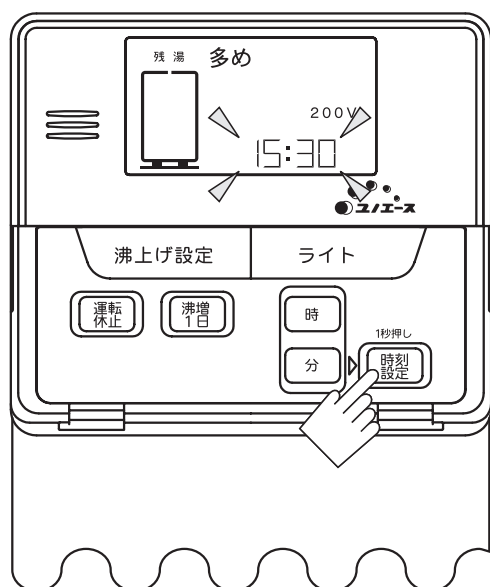
例）15時30分に合わせる場合（24時間表示）

1 ブレーカおよび本体漏電遮断器（電源スイッチ）を「入」（ON）にする。

●時計が「00：00」で点滅します。

お知らせ

※長時間の停電の後では表示が「00：00」点滅状態となっていることがあります。
このときは、上記と同じ手順で時刻を設定し直してください。

2 時刻を合わせます。「時」「分」ボタンで時刻を合わせてください。

●時刻は24時間表示です。
●昼の12時は、12：00、
夜の12時は、0：00を表示します。

3 最後に「時刻設定」ボタンを押します。

●点滅状態から点灯状態となれば設定完了です。

お知らせ

※「時刻設定」ボタンを押さずに（点滅状態で）10秒以上放置すると設定する前の状態に自動的に戻ります。このときは、再度2の操作からやり直してください。

※再度時刻を設定するときは、「時刻設定」ボタンを1秒以上長押ししてください。
時刻が点滅状態になれば、変更できます。

ご注意

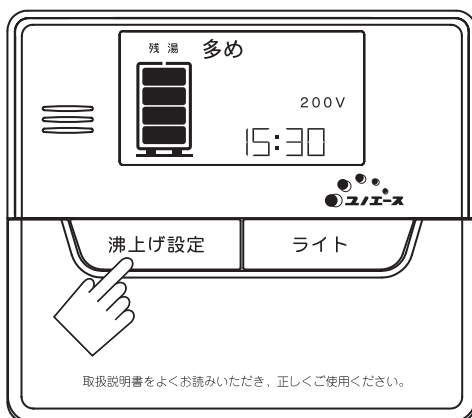
※正しい時刻に設定されていないと電気料金が割高になる場合があります。24時間表示を間違えないように設定してください。

※時刻は、ずれることがあります。
時々確認をして時刻を修正してください。

リモコンの使い方（リモコンを取り付けた場合）

〈沸き上げ設定を変更する〉

●沸き上げ湯温は3種類の設定ができます。
●初めてお使いになるときは、「多め」（初期設定）に設定されています。

1 「沸上げ設定」ボタンを押します。

●「沸上げ設定」ボタンを押すたびに「多め」「おまかせ」「少なめ」表示が切り替わります。

※「多め」「おまかせ」「少なめ」表示はいずれか1つが点灯します。

沸き上げ設定	沸き上げ湯温
多め	約85℃に沸き上げます。
おまかせ	給水温と過去1週間のお湯の使用湯量から翌日の使用湯量を計算（学習値）し、約65℃～85℃に沸き上げます。
少なめ	約65℃に沸き上げます。

お知らせ

※沸き上げ湯温は、沸き上げ完了直後のタンク内温度の目安です。時間の経過とともに少しずつ低下します。

※冬季に給水温が低い（約10℃以下）場合は、沸き上げ湯温が設定より若干低くなることがあります。

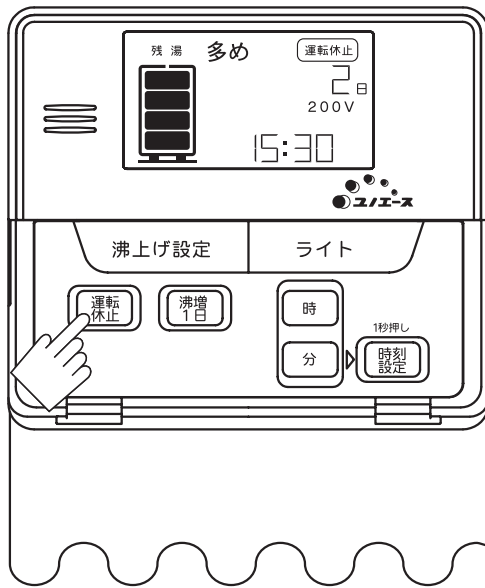
※深夜時間帯にお湯をたくさん使うと設定温度まで沸き上がらないことがあります。

※来客などで使用湯量が急増するときは、前もって沸き上げ設定を「多め」に切り替えてください。

リモコンの使い方（リモコンを取り付けた場合）

〈運転を休止する〉

●旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸き上げを停止させることができます。
●2泊以上旅行などで留守にするときに便利です。

1 「運転休止」ボタンを押します。

●「運転休止」ボタンを押すと表示部に運転休止日数が表示されます。

1回押すたびに
1日→2日→3日→…
…14日→ーー日→表示なし（解除）
と順次変わります。

●「ーー日」は連続して運転を休止します。
●解除する場合は、「運転休止」ボタンを押し「表示なし」の状態にしてください。

運転休止日数の計算のしかた

●宿泊日数から1日を引いた日数を設定すれば、帰宅した日からお湯が使えます。

例）3泊4日の場合
3−1=2
2日休止で設定します。

宿泊日数	運転休止設定日数
1泊	休止する必要がありません
2泊	1日
3泊	2日
⋮	⋮
15泊	14日
連続	ーー日

お知らせ

※表示の日数は深夜電力時間帯終了時に1日減らしていきます。

※設定した休止日数の表示がなくなると運転を再開します。

※沸き上げ運転中に運転休止を設定するとその時点から運転を休止します。

お願い

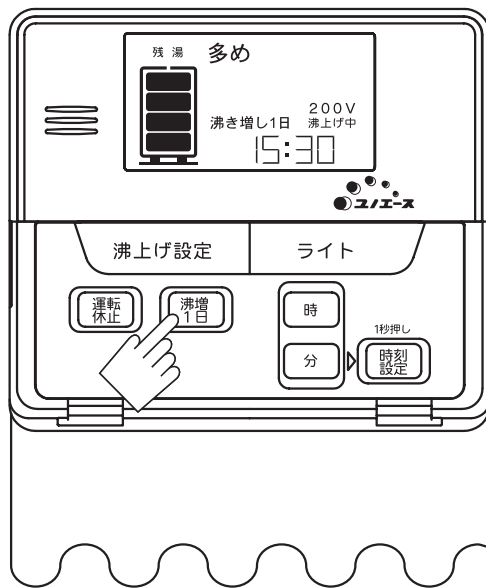
1ヶ月以上の休止期間の場合は、長期間お湯を使用しないときの操作を行ってください（▷19ページ）

リモコンの使い方（リモコンを取り付けた場合）

〈沸き増し設定のしかた〉

●来客などでたくさんのお湯を使うとき「沸増1日」ボタンを押して設定をします。
●設定した日はお湯が減ってきたら自動的に沸き上げを行い、お湯が足らなくなるのを防ぎます。

※深夜電力でお使いの場合は、ご使用になれません。

1 「沸増1日」ボタンを押します。

●「沸増1日」ボタンを押すと表示部に沸き増し1日が表示されます。

●再度1回押すと表示なし（解除）となります。

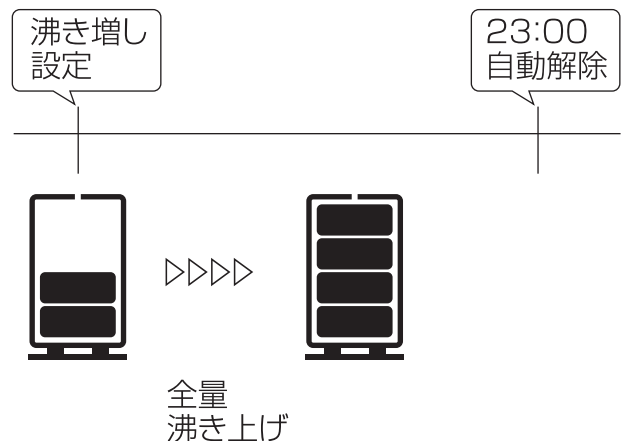
ご注意

※昼間電力で沸き上げを行うため電気料金が割高になります。

●温水器のタンク内の水を沸き上げ設定温度で全量沸き上げます。

●あらかじめ湯量不足が予想されるときにお使いください。

●沸き増し設定は23:00になると自動的に解除されます。

沸き増し動作

リモコンの使い方（リモコンを取り付けた場合）

〈温水器のお湯の量を確認する〉

- タンク内に残っているお湯の量を確認できます。
- 温水器のタンク容量によって目安となる残湯量が違います。

残湯表示	タンク容量別　残湯量の目安			
	300L	370L	470L	560L
点滅	75L未満	75L未満	75L未満	75L未満
	75L以上	75L以上	75L以上	75L以上
	150L以上	150L以上	150L以上	150L以上
	180L以上	210L以上	210L以上	225L以上
	240L以上	280L以上	300L以上	320L以上

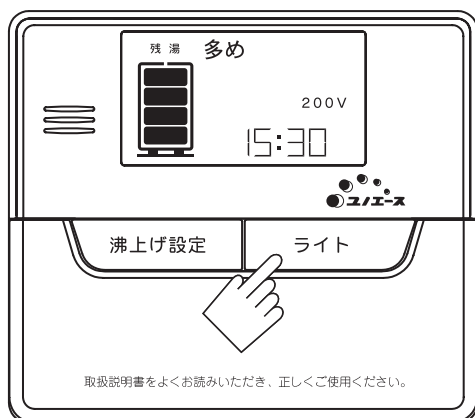
お知らせ

※残湯表示は、48℃以上のお湯の量を表示しています。
※お湯切れ防止のために使用状況に応じて「沸き増し」の設定を行ってください。

リモコンの使い方（リモコンを取り付けた場合）

〈バックライトの点灯のしかた〉

●リモコンのボタン操作を行うと自動的に点灯します。
　ボタン操作が終われば約10秒後に消灯します。
●暗いところでも表示の確認ができます。

1　「ライト」ボタンを押します。

●「ライト」ボタンを押すとバックライトが点灯します。約10秒後に消灯します。

お知らせ

●バックライト点灯は、充電方式となっています。
●連続して長くボタン操作を行った場合、明るさが暗くなることがあります。
●明るさが暗くなっても、ボタン操作を終了し、しばらく充電すれば、もとの明るさに戻ります。

ご注意　〈深夜電力契約でお使いの場合〉

●バックライト点灯は充電方式となっています。

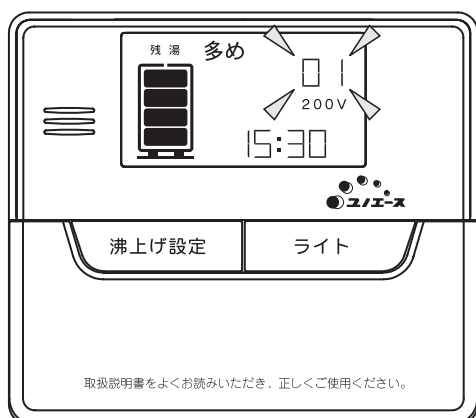
●昼間に約20回以上ボタン操作を行った場合、明るさが暗くなったり、点灯しなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

●点灯しなくなった場合でも、23:00以降深夜電力が供給されると充電され、バックライトが点灯できるようになります。

リモコンの使い方（リモコンを取り付けた場合）

〈エラー表示〉

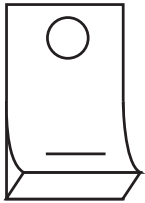
●エラー表示がされたときは、販売店（工事店）へご連絡ください。

1 リモコンにエラー表示が点滅します。

点滅数字	エラー内容	処置方法
01～06	各センサー部回路の異常	お湯の沸き上げを行わない場合があります。 販売店（工事店）にご連絡ください。 （修理が終われば自動的に表示は消えます。）
09	200V電源異常	漏電遮断器、配線用遮断器がOFFになっていないかご確認ください。 OFFになっている場合は、ONにしてください。 （200V電源が通電されると自動的に表示は消えます。）
11	温水器本体～リモコンの通信異常	お湯の沸き上げを行わない場合があります。 販売店（工事店）にご連絡ください。 （修理が終われば自動的に表示は消えます。）

操作部の使い方 （リモコンレスタイプ）

湯温切替スイッチの使い方

湯温切替スイッチ操作部

多　め

おまかせ

湯温設定	沸き上げ湯温
多め	約85℃に沸き上げます。
おまかせ	給水温と過去1週間のお湯の使用湯量から翌日の使用湯量を計算（学習値）し、約65℃～85℃に沸き上げます。

- 沸かしすぎによる電気のムダ使いを防ぎ維持費を節約するため日常の使用湯量に合わせて湯温設定をしてください。
- このスイッチは一度湯温設定したら、ほぼ断続的にご使用いただくスイッチです。それぞれのご家族の使用湯量、お客様の予定、家族構成の変動などに合わせて切換えてください。
- 湯温設定のめやすは、使いはじめは「多め」をおすすめします。お湯の使用量が少ない場合は省エネのために「おまかせ」に湯温設定を切換えてください。但し、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されているときは、前日に「多め」に切換えてください。

ご注意

- 湯温切替スイッチの操作は深夜電力供給時間前にセットしてください。
- 23：00以降にお湯を使うと設定湯温まで沸き上がらない場合があります。また、厳冬期や残湯量が少なく水温が低い（10℃以下）ときも設定湯温まで沸き上がらないことがあります。

凍結防止対策について

- 冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が０℃以下になることがあります。配管が凍結すると電気温水器が使えないばかりか、減圧弁・逃し弁の破損、場合によってはタンクが破損することも考えられます。したがって、凍結事故を防ぐため地域の気候条件にあった凍結防止策をおこなってください。
- 凍結防止には、次の方法などが考えれらますがどの凍結防止対策が施工されているか、およびその操作方法についても販売店（工事店）に確認してください。

凍結防止ヒーターによる方法	たれ流しによる方法
減圧弁や配管に加温ヒーターを巻きつけ、配管を暖めて凍結防止する方法。	凍結が予想される日に、給湯栓、シャワーなどの蛇口を糸の引く程度開けて水を出しっ放しにして凍結防止する方法。

こんなときは

機器を移設されるときは

増改築などのため機器を移設されるときは専門の技術が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。

長期間お使いにならないとき

1ヵ月以上使用しないときはタンク内の水を排水してください。排水をしないと水質が変化することがあります。

⚠警告 タンクの熱湯排水は直接しないでください。1度お風呂に給湯し、タンク内が水になってから排水ください。

- 熱湯を直接排水すると、やけどをすることがあります。
- 排水管が熱で変形する場合があります。
- タンクが負圧になり破損することがあります。

1.配線用遮断器と本体漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にしてください。
2.止水栓を閉じてください。
3.逃し弁のレバーを上げてください。
4.排水栓を開いてください。

⚠警告 やけどに注意ください。

熱湯が出る恐れがあります。

5.排水後は逃し弁のレバーを下げてください。
6.排水完了後、1時間程度放置してから排水栓を閉じてください。

再びご使用になるときは、「温水器への給水（P8）」及び「温水器への通電（P9）」をご覧ください。

短期間お使いにならないとき

1ヵ月以内の短期間使用しないときはタンク内の水は抜かないでください。

1.配線用遮断器及び本体漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にしてください。
2.止水栓を閉じてください。

再びご使用になるとき

1.止水栓を開いてください。
2.配線用遮断器及び本体漏電遮断器の電源スイッチを「ON」にしてください。
3.給湯栓を開きタンク内の水を入れかえてください。（20～30分で入れかわります。）

ご注意

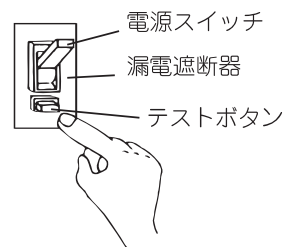
凍結の恐れがあるときは、1ヵ月以内の短期間使用しないときでも「凍結防止対策について（P18）」を参考に凍結防止対策を実施してください。

日常のお手入れと点検

1. 漏電遮断器の動作確認

⚠警告 ❗ 漏電遮断器の動作を年に2〜3回は確認してください。

漏電遮断器が故障のまま使用すると漏電のときに感電する恐れがあります。

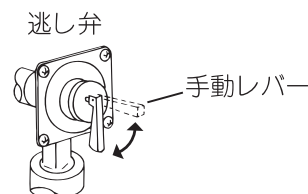
1.通電時間帯に漏電遮断器のテストボタンを押して、電源スイッチが「OFF」になることを確認ください。（「OFF 」にならない場合は販売店（工事店）へご相談ください）
2.動作確認後、必ず電源スイッチを「ON」にしてください。
3.漏電遮断器点検窓を確実に閉じてください。
（閉じ方が不完全な場合雨水が浸入して感電や機器が故障する恐れがあります）

2. 逃し弁の点検

⚠注意 ❗ 逃し弁を年に2〜3回は点検してください。

この操作を怠りますと、タンクが破損したり、逃し弁などからの水漏れにより、やけどや大きな被害につながることがあります。

⚠警告 逃し弁の点検時は排水管・排水ホースに手を触れないでください。

やけどすることがあります。

1.手動レバーを持ち上げて、排水することを確認ください。
2.手動レバーを下げて、排水が止まることを確認ください。
排水が止まらないときは、ゴミをかんでいることがあります。レバーを上げ下げしてゴミを流してください。
（排水が止まらない場合は販売店（工事店）へご相談ください。）

3. 配管等の点検

⚠注意 ❗ 配管の保温材の破損や水漏れがないことを確認してください。

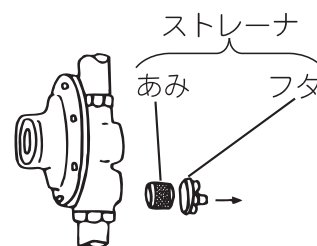
4. 減圧弁ストレーナの清掃

販売店（工事店）に依頼してください。

減圧弁内蔵のストレーナに、ゴミなどの異物が付着しますとお湯の出が悪くなりますので、ときどき取り外して清掃ください。

1.止水栓を閉じます。
2.ストレーナのフタを外し、あみを洗います。
3.元のとおりに組み込んで、止水栓を開きます。

ご注意

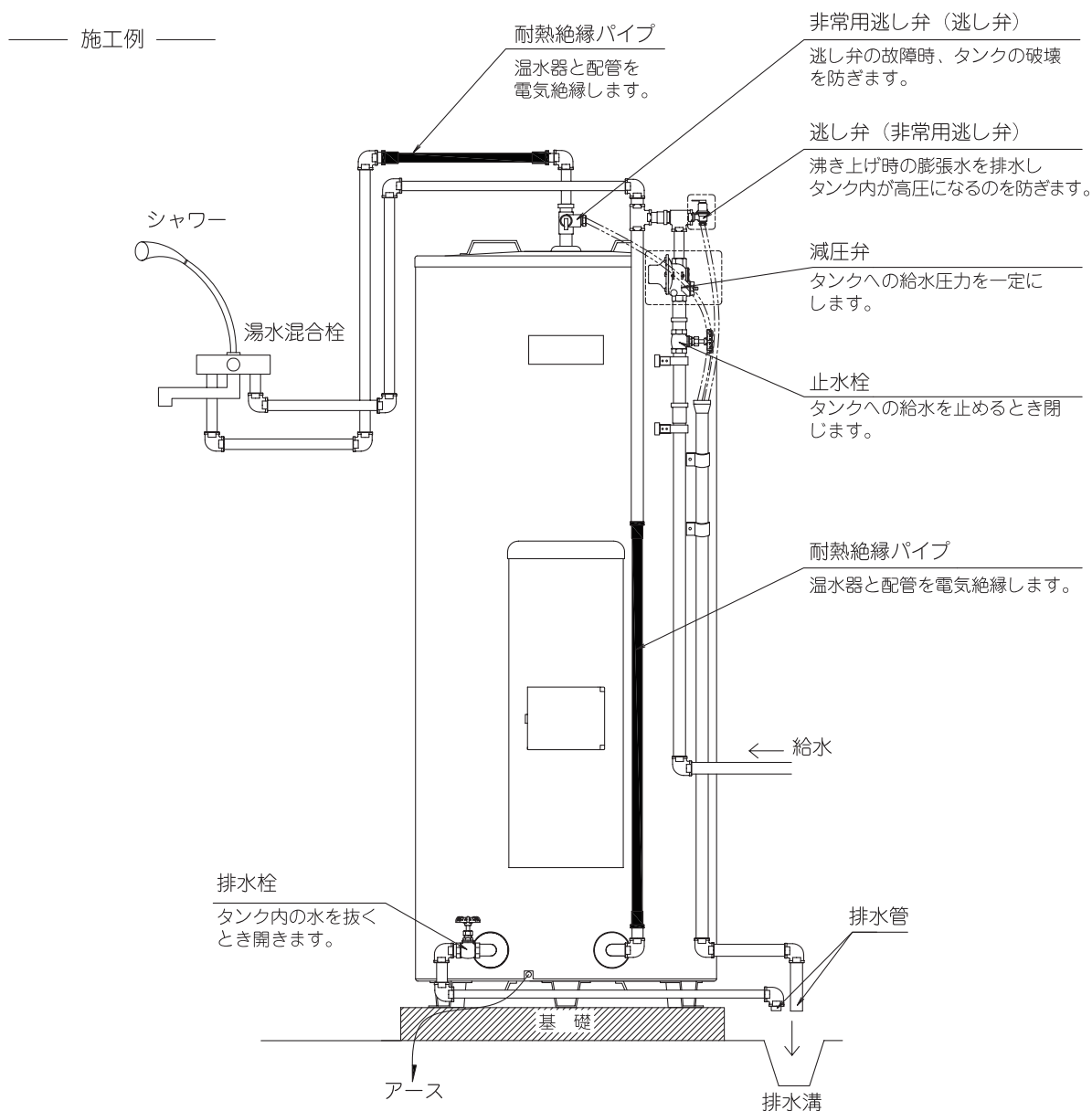
作業時に配管内の水が流れますので床面にこぼさないようバケツ等で受けてください。
床面に防水処理がされていない場合は二次災害の恐れがありますので販売店（工事店）へご相談ください。

日常のお手入れと点検

5. タンク内の清掃

年2～3回はタンクの底部にたまった汚れを排水してください。
清掃の手順は次のとおりです。

⚠警告	🚫 排水時はお湯に手を触れないでください。
	やけどをすることがあります。

1.排水栓を約１～２分開いてください。
2.汚れがなくなったら排水栓を閉じてください。
　汚れが多い場合は数回繰り返してください。

ご注意 沸き上げ中は行わないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

- 次のような現象のときは、サービスマンを呼ぶ前にご確認してください。

現　　象	処置・確認事項
お湯が出ない お湯の出が悪い	●止水栓を閉じていませんか。 止水栓を開いてください。 ●断水ではありませんか。 断水が終るまで待ってください。 ●配管が凍結していませんか。 止水栓を閉じて販売店（工事店）へご連絡願います。
お湯が沸かない	●配線用遮断器又は漏電遮断器の電源スイッチが「OFF」になっていませんか。 「OFF」の場合は「ON」にしてください。 ●運転休止設定が入っていませんか。 運転休止設定を解除してください。
お湯がぬるい	●タンク内の温度は放熱によって時間とともに少しずつ低下します。 ●以下の場合、タンク内の湯温が沸き上げ温度まで沸き上がらないことがあります。 ・沸き上げ中にお湯を使用した場合 ・給水水温が低い場合（給水水温：10℃以下）
お湯が足りない	●お湯をたくさん使用していませんか。 時間帯別電灯契約／季節別時間帯別電灯でご使用の場合は、沸き増しをご使用ください。 ●沸き上げ設定を変更してください。 ●沸き上げを行っていない時に、逃し弁の排水口からお湯（水）が出ている場合は逃し弁の点検を行ってください。
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んだ空気が、蛇口を開いたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯から油が出る お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。
逃し弁の排水口からお湯(水)が出ている	●沸き上げ中は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。 正常な動作です。 ●沸き上げを行っていない時に、逃し弁の排水口からお湯（水）が出ている場合は逃し弁の点検を行ってください。
沸き増し設定が出来ない	●電力制度の契約が「深夜電力」契約のお客さまは、沸き増しをご利用出来ません。電力制度の契約については、電力会社にご相談ください。

- 以上のことをお調べになり､それでも不具合がある場合や不明な場合は､販売店(工事店)にご連絡ください。
保証期間内の場合は保証書をご提示ください。

アフターサービス

点検・修理を依頼されるとき

- 点検・修理を依頼されるときはP22の「故障かな？と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
確認のうえ、それでも不具合がある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、販売店（工事店）にご連絡ください。
点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
1.型式（電気温水器に貼っている銘板で確認）例「SN4-3710ML」
2.不具合現象の内容（できるだけ具体的に）
3.取付年月日
4.お名前・ご住所・電話番号
点検・修理の連絡先…販売店（工事店）の名称、住所、電話番号

<table>
<tr><td>ご購入年月日</td><td>年　　　月　　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ご購入店名
または
工事店名</td><td></td></tr>
<tr><td>☎</td></tr>
</table>

お客様へ…ご購入日、販売店（工事店）名を記入ください。

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

保証について

- 製品に保証書が同梱されています。
必ず「販売店（工事店）お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ、保管ください。
- 修理を依頼されるときは、販売店（工事店）にお電話ください。
保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき修理いたします。
保証期間が過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理します。

消耗部品について

下記部品の交換時は当社指定品をご使用ください。
（減圧弁、逃し弁、非常用逃し弁、ヒーター、パッキン類、センサー類）
なお、交換については、販売店（工事店）にご相談ください。

定期点検（有料）

温水器を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行ってください。
定期点検については販売店（工事店）へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な内容

項目	内容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検および消耗部品の交換
清掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去）、ストレーナーの掃除

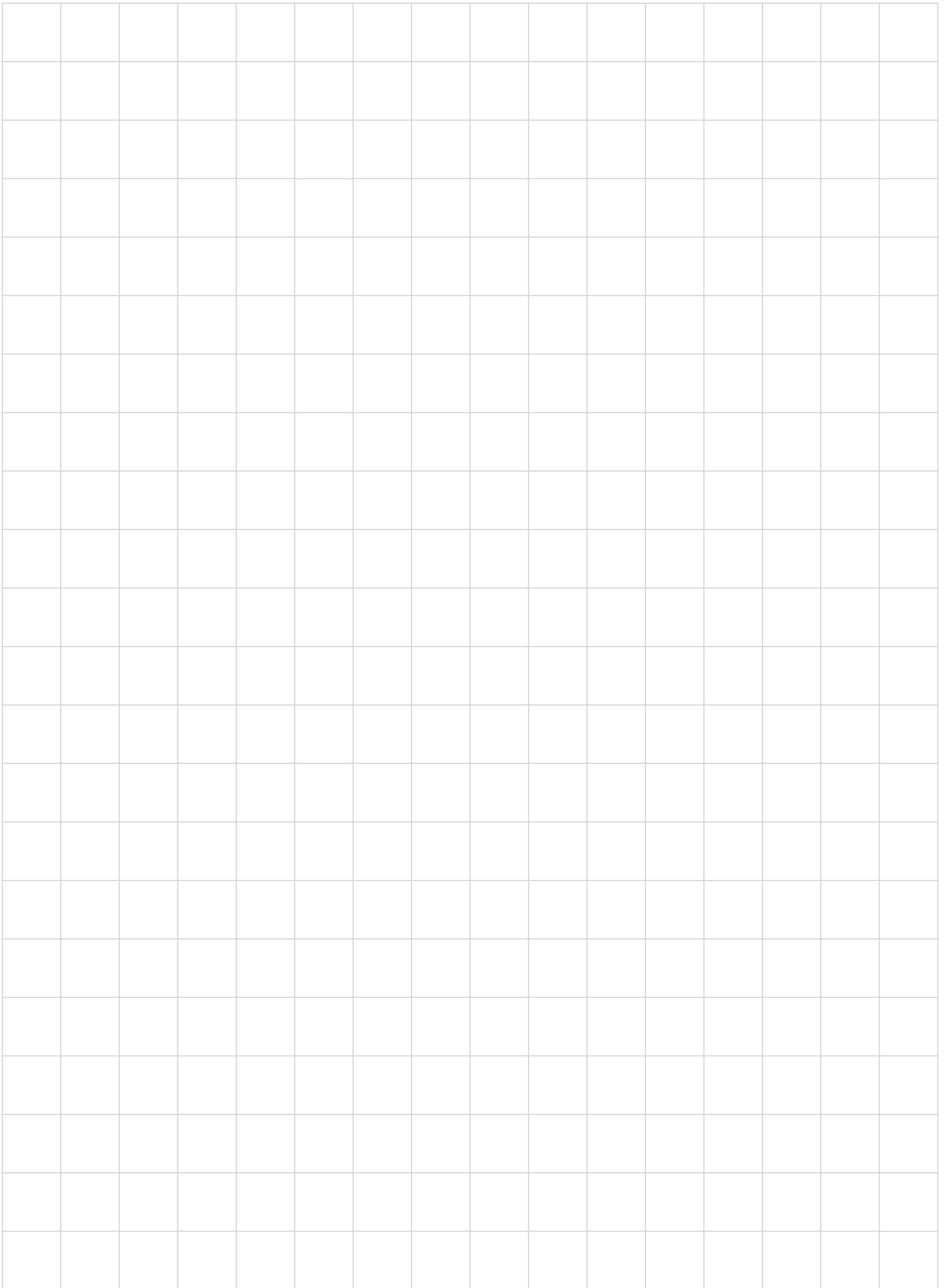
仕　様

マイコン型リモコンレスタイプ

型式名				SN3-3011ML	SN3-3010MLS	SN4-3711ML	SN4-3711MLS	SN4-3711MLE	SN5-4711ML	SN5-4710MLS	SN5-4711MLE	SN6-567ML	SN6-566MLS
タンク容量			L	300		370			470			560	
定格	深夜電源	電圧	V	単相200									
		電流	A	17		22			27			32	
		消費電力	kW	3.4		4.4			5.4			6.4	
沸き上がり湯温			℃	約65～約85									
外形寸法		高さ	mm	1779		1818		1763	1806		1751	2077	
		幅		600		686			730			730	
		奥行		705		788			841			841	
製品質量		本体	kg	50	63	54	69	54	67	76	67	72	91
		満水時		350	363	424	439	424	537	546	537	632	651
操作部				湯温切替スイッチ（漏電遮断器点検窓内）									

マイコンレス8時間湯沸しタイプ

型式名			SN3-307	SN3-306S	SN4-377	SN4-376S	SN5-478	SN5-477S	SN6-567
タンク容量		L	300		370		470		560
定格	電圧	V	単相200						
	電流	A	17		22		27		32
	消費電力	kW	3.4		4.4		5.4		6.4
沸き上がり湯温		℃	約85						
外形寸法	高さ	mm	1779		1818		1806		2077
	幅		600		686		730		730
	奥行		705		788		841		841
製品質量	本体	kg	50	63	54	69	67	76	72
	満水時		350	363	424	439	537	546	632

※製品改良のため、仕様および外観の一部を変更することがあります。

点検依頼連絡先

店　名

連絡先　TEL

工事店に必ず記入してもらってください。

製　造　四変テック株式会社

フリーダイヤル 0120-4591-26（しこくいちのふろ）

高 瀬 工 場　〒767-0004　香川県三豊市高瀬町比地200番地の1　☎(0875) 72-4300

中国営業所　〒721-0942　広島県福山市引野町2丁目2-22　☎(084) 943-7156

松山営業所　〒791-1112　松山市南高井町1641-1　☎(089) 970-6650

MLSA-1404